

# 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日)

令和3年5月14日(金)

公益財団法人DNP文化振興財団

# 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 1 アーカイブ関連事業

### (1) 田中一光アーカイブ

|                |         |
|----------------|---------|
| ①本人作品ポスター      | 2,748点  |
| 版画             | 259点    |
| エディトリアル        | 2,326点  |
| 原画類            | 3,558点  |
| その他(パンフ/V.I.等) | 3,096点  |
| ②資料写真          | 27,998点 |
| その他資料類         | 2,396点  |
| ③他作家作品ポスター・版画等 | 1,141点  |
| その他            | 160点    |
| ④蔵書            | 9,870点  |

### (2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

|               |        |
|---------------|--------|
| ①本人作品ポスター     | 1,603点 |
| 版画            | 175点   |
| 原画類           | 753点   |
| その他(クラフト作品等)  | 524点   |
| ②資料 書籍等       | 570点   |
| ③他作家作品ポスター・版画 | 2,556点 |

### (3) 永井一正作品アーカイブ

|                |        |
|----------------|--------|
| ①本人作品ポスター      | 912点   |
| 版画             | 327点   |
| エディトリアル        | 1,273点 |
| 原画類            | 797点   |
| その他(V.I.等)     | 789点   |
| ②資料 作品ポジ       | 646点   |
| その他資料類         | 2,126点 |
| ③他作家作品ポスター・版画等 | 153点   |
| その他            | 63点    |

(4) ポスターアーカイブ (令和3年3月末現在)

1 収蔵作家：236名 (国内作家119名 海外作家117名)

2 総点数：16,529点

3 令和2年度の受入れ状況：

[国内作家]

矢萩喜從郎 608点

渡邊良重 1点

計 609点

[国外作家]

スルギ&ミン 10点

計 11点

合計 619点

(5) アーカイブ作品の貸出

①21\_21 DESIGN SIGHT 「<sup>秘</sup>展 めったに見られないデザイナー達の原画」展

会期：令和元年11月22日～令和2年9月22日

(コロナによる中断をはさんで会期延長)

概要：永井一正ポスター原画16点を貸出

②東京都現代美術館 「石岡瑛子 血が、汗が、涙がデザインできるか」展

会期：令和2年11月14日～令和3年2月14日

概要：石岡瑛子作品73点を貸出

③島根県立石見美術館 「ファッション イン ジャパン 1945-2020 流行と社会」

国立新美術館 (巡回) 会期：島根県立石見美術館 令和3年3月20日～5月16日

国立新美術館 令和3年6月9日～9月6日

概要：石岡瑛子および山口はるみポスター作品計3点を貸出

## 2 展示関連事業

### (1) ギンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル 1階、地下1階  
日曜・祝日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

#### ■新型コロナウイルス感染症に伴う展覧会スケジュールの変更

2020年4月に発出された緊急事態宣言を受けて、4月3日～6月21日まで臨時休館とし、あわせて展覧会スケジュールを以下のように変更しました。

| 当初予定                       |               | 変更後                    |                                       |
|----------------------------|---------------|------------------------|---------------------------------------|
| 展覧会名                       | 会期            | 展覧会名                   | 会期                                    |
| 第 379 回 TDC 2020           | 4/3～4/28      | 同左                     | 6/22～8/29                             |
| 第 380 回 佐藤卓展               | 5/14～7/11     | 同左                     | 令和 4 年度に延期                            |
| 特別展 オリンピック・ランゲージ展          | 7/21～8/29     | 同左                     | 令和 3 年度に延期                            |
|                            |               | (急遽開催)<br>第 380 回永井一正展 | 10/9～11/21                            |
| 第 381 回 石岡瑛子展              | 9/7～10/21     | 第 381 回石岡瑛子展<br>前期・後期  | 前期 12/4～2021/1/23<br>後期 2021/2/3～3/19 |
| 第 382 回 日本のアートディレクション 2020 | 10/28～11/21   | 同左                     | 中止                                    |
| 第 383 回 ソール・スタインバーグ展       | 12/2～1/25     | 同左                     | 令和 3 年度に延期                            |
| 第 384 回 葛西薫展               | 2021/2/3～3/25 | 同左                     | 令和 3 年度に延期                            |

#### ■新型コロナウイルス感染症対策

- ① 1階ギャラリー入口での非接触温度計による検温。発熱・体調不良の方の入館禁止。
- ② 1階ギャラリー入口および1階通用口にアルコール消毒液を設置し、受付スタッフによる手指消毒要請。
- ③ 来場者のマスク着用義務。
- ④ 展示室内での大声の会話禁止。
- ⑤ 混雑時の入場制限（1階・地階、各階最大 25 名）。
- ⑥ 1階ギャラリー入口扉の定期的な開放および空調設備による換気の強化。
- ⑦ 受付スタッフのマスク・フェースシールド・手袋着用。
- ⑧ 受付カウンターへのパーティション設置。
- ⑨ ドアノブ・手すりのこまめな消毒。

## ■第 379 回 TDC 2020

会 期： 2020 年 6 月 22 日～8 月 29 日  
(当初予定会期 4 月 3 日～4 月 28 日)

入場者： 6,215 名、一日平均 109 名

東京タイプディレクターズクラブが主催する国際アニュアル・コンペティション「東京 TDC 賞 2020」の展覧会です。国内外の応募から選出された受賞作品 12 点やノミネート作品など、タイポグラフィを軸にしたグラフィックデザインの優秀作品約 150 点を展示しました。

コロナ禍で来場できない方のために、大日本印刷の 360°ビューモーフィング技術を用いたバーチャル・ギャラリーツアー映像を、ギャラリー・ホームページで公開しました。

※ 360°ビューモーフィング技術とは、2 枚の 360°写真を自動合成し、疑似的にウォークスルー画像を生成する技術です。



## ■第 380 回 いきることば つむぐいのち：永井一正の絵と言葉の世界

会 期： 2020 年 10 月 9 日～11 月 21 日

入場者： 5,008 名、一日平均 135 名

コロナ禍による展覧会スケジュールの変更を受けて、グラフィックデザイナー永井一正氏のご協力により急遽開催しました。

展覧会は、2020 年 4 月に発行された同氏の著書『いきることば つむぐいのち』（芸術新聞社）をもとに構成しました。

1 階では、同書、および同書から厳選した絵と言葉を、森のように展示。地階では、永井氏のライフワーク「LIFE」シリーズのポスター群の映像を大画面プロジェクションで上映しました。

また、永井一正氏と、ご子息でアートディレクターの永井一史氏、ライター・編集者の河尻亨一氏によるオンライントークの様子を、財団公式 YouTube チャンネルで配信しました。合わせて、高精細印刷技術で制作した永井一正作品集『KAZUMASA NAGAI』も刊行しました。さらに、TDC 2020 展にひきつづき、360°ビューモーフィング技術を用いたバーチャル・ギャラリーツアー映像をギャラリー・ホームページで公開しました。展覧会終了後には、オンライントーク内容を編集し、英文字幕をつけて YouTube で公開しました。



■第 381 回 SURVIVE - EIKO ISHIOKA／石岡瑛子 グラフィックデザインはサバイブできるか

会 期：2020 年 12 月 4 日～2021 年 3 月 19 日

前期：2020 年 12 月 4 日～2021 年 1 月 23 日

後期：2021 年 2 月 3 日～2021 年 3 月 19 日

(当初予定会期：2020 年 9 月 7 日～10 月 21 日)

入場者：19,412 名、一日平均 270 名



1960～70 年代に、資生堂、パルコ、角川書店などのアートディレクターとして広告界にセンセーションを巻き起こし、1980 年代以降はニューヨークを拠点に映画や演劇の美術・衣装デザイナーとして活躍した、石岡瑛子 (1938～2012) の回顧展です。東京都現代美術館で開催の石岡瑛子展 (2020/11/14～2021/2/14) に合わせて、前・後期の 2 期で開催しました。

前期は、資生堂、パルコなどの広告、レコードジャケット、雑誌『野性時代』などを紹介し、後期は、映画・演劇ポスター、初期の日宣美出品作品、手描きスケッチ他を展示しました。

東京都現代美術館の展览会との相乗効果もあり、過去最多の来場者数を記録しました。

また、会期中、本展ゲストキュレーター河尻亨一氏をはじめ、多彩なゲストを迎えて、「瑛子さんを語る！」と題するオンライン・トークセッションを計 4 回、財団公式 YouTube チャンネルで配信したほか、高精細印刷技術プリモアートの作品集『EIKO ISHIOKA SURVIVE』も刊行しました。

※ 高精細印刷技術プリモアートとは、印刷で通常用いられる CMYK 画像ではなく、RGB 画像を使用した高精細インクジェット印刷です。

## (2) 京都 d d d ギャラリー ( d d d ) の展示

〒616-8533 京都市右京区太秦上刑部町 10

日曜・月曜・祝日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

### ■新型コロナウイルス感染症に伴う展覧会スケジュールの変更

2020 年 4 月に発出された緊急事態宣言を受けて、4 月 4 日～6 月 8 日まで臨時休館とし、あわせて、展覧会スケジュールを以下のように変更しました。

| 当初予定                                  |            | 変更後                                |             |
|---------------------------------------|------------|------------------------------------|-------------|
| 展覧会名                                  | 会期         | 展覧会名                               | 会期          |
| 第 225 回 コントラ<br>プンクト展                 | 4/4～6/13   | 同左                                 | 6/9～10/3    |
| 第 226 回 ヘルム<br>ート・シュミット展              | 6/27～8/22  | 同左                                 | 令和 3 年度に延期  |
| 第 227 回 文字を作<br>る仕事：鳥海修と字<br>游工房      | 9/5～10/24  | 同左                                 | 令和 3 年度に延期  |
|                                       |            | (急遽開催)<br>第 226 回 食のグラフ<br>ィックデザイン | 10/17～12/19 |
| 第 228 回 京都精華<br>大学共催展                 | 11/7～12/19 | 同左                                 | 中 止         |
| 第 229 回 GRAPHIC<br>WEST 9 スルギ&ミン<br>展 | 1/16～3/19  | 同左                                 | 予定通り        |

### ■新型コロナウイルス感染症対策

- ① ギャラリー入口での非接触温度計による検温。発熱・体調不良の方の入館禁止。
- ② ギャラリー入口にアルコール消毒液を設置し、警備員による手指消毒要請。
- ③ 来場者のマスク着用義務。
- ④ 展示室内での大声の会話禁止。
- ⑤ 混雑時の入場制限（最大 30 名）。
- ⑥ 1 階ギャラリー入口扉の定期的な開放および空調設備による換気の強化。
- ⑦ 受付スタッフのマスク・手袋着用。
- ⑧ 受付カウンターへのパーティション設置。
- ⑨ ドアノブ・手すりのこまめな消毒。

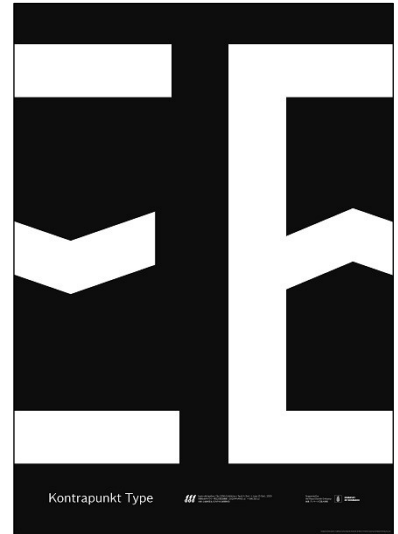
## ■第 225 回 コントラプンクト タイプ Kontrapunkt Type

会 期： 2020 年 6 月 9 日～10 月 3 日  
（当初予定会期： 4 月 4 日～6 月 13 日）  
入場者： 605 名、一日平均 7.5 名

デンマークのデザインエージェンシー、コントラプンクトが、企業ブランド向けにデザインした書体を紹介する展覧会の巡回。

それぞれにユニークなストーリーをもつ、特注の企業ブランド書体の背景を表現するために、鑑賞者の操作によって変化するインタラクティブな大画面プロジェクションで会場を構成。デザイン・コンセプトや歴史を体感できる展示になりました。

また、来場できない方のために、コントラプンクトが展覧会特設サイトを開設し、オンラインでも展覧会を楽しめるようにしました。



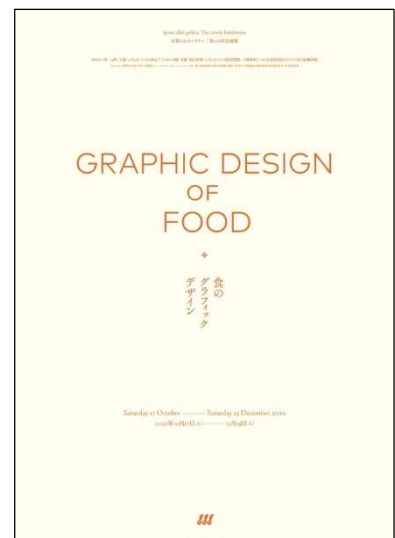
## ■第 226 回 食のグラフィックデザイン (CCGAより巡回)

会 期： 2020 年 10 月 17 日～12 月 19 日  
入場者： 946 名、一日平均 20.5 名

コロナ禍による展覧会スケジュールの変更を受けて、CCGAで3月1日～6月28日に開催した展覧会を、急遽d d dに巡回しました。

内容は、CCGA収蔵のDNPグラフィックデザイン・アーカイブから、食に関するグラフィックデザイン作品を紹介するテーマ展示です。デザイナーたちが食の力を伝えるべく思い思いに腕をふるったポスターや雑誌などを展示しました。

また来場できない方のために、CCGA学芸スタッフによる展覧会の解説動画を財団公式 YouTube チャンネルで配信しました。





## ■第 227 回 GRAPHIC WEST 9：スルギ&ミン展

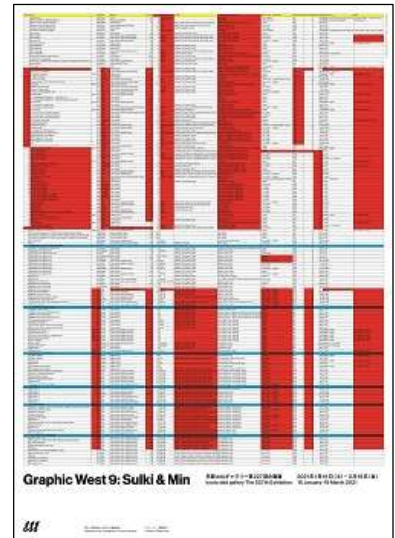
会 期： 2021 年 1 月 16 日～3 月 19 日

入場者： 501 名、一日平均 13.4 名

展覧会シリーズ「GRAPHIC WEST」の 9 回目となる本展では、ソウルを拠点に、世界を舞台に批評的な活動を行うチェ・スルギとチェ・ミンの二人組、スルギ&ミンを取りあげました。

展覧会では、彼らの近著『Explained』をベースに、デビューした 2000 年代半ばから現在に至る作品を網羅的に紹介しました。同書は、本来「見られる」ものであるグラフィックデザイン作品を、あえてテキストと部分のクローズアップなどの断片的なイメージで説明する、それ自体がコンセプチュアルな作品です。展覧会では、来場者が同書を片手に、説明テキストを読みながら作品を見るという仕掛けを試みました。

また来場できない方のために、スルギ&ミンが展覧会特設サイトを公開したほか、作家のほかに、ゲストキュレーター後藤哲也氏ほか日本のデザイン関係者が登場する 2 本の解説動画を制作し、財団公式 YouTube チャンネルで配信しました。



### (3) CCGA現代グラフィックアートセンターの展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

月曜・祝日の翌日休館、開館時間：午前 10：00～午後 5：00

入館料：一般 300 円／学生 200 円／小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

#### ■新型コロナウイルス感染症に伴う展覧会スケジュールの変更

2020 年 4 月に発出された緊急事態宣言を受けて、4 月 4 日～6 月 5 日まで臨時休館とし、あわせて、展覧会スケジュールを以下のように変更しました。

| 当初予定                                                  |            | 変更後  |                                  |
|-------------------------------------------------------|------------|------|----------------------------------|
| 展覧会名                                                  | 会期         | 展覧会名 | 会期                               |
| 第 80 回 食のグラフィックデザイン展                                  | 3/1～6/7    | 同左   | 会期延長 3/1～6/28<br>(臨時休館 4/18～6/4) |
| 第 81 回 共鳴する刻<br>一木口木版画の現在<br>地展                       | 6/13～9/6   | 同左   | 7/4～9/6                          |
| 第 82 回 ことばと版<br>画：タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展<br>Vol.33  | 9/12～12/20 | 同左   | 予定通り                             |
| 第 83 回 つながりの<br>デザイン：DNP グラフィックデザイン・<br>アーカイブコレクションより | 3/2～6/6    | 同左   | 予定通り                             |

#### ■新型コロナウイルス感染症対策

- ① ギャラリー入口での非接触温度計による検温。発熱・体調不良の方の入館禁止。
- ② ギャラリー入口にアルコール消毒液を設置し、受付スタッフによる手指消毒要請。
- ③ 来場者のマスク着用義務。
- ④ 展示室内での大声の会話禁止。
- ⑤ 混雑時の入場制限（最大 30 名）。
- ⑥ 1 階ギャラリー入口扉の定期的な開放および空調設備による換気の強化。
- ⑦ 受付スタッフのマスク・フェースシールド・手袋着用。
- ⑧ 受付カウンターへのパーティション設置。
- ⑨ ドアノブ・手すりのこまめな消毒。

## ■第80回 食のグラフィックデザイン

会 期： 2020年3月1日～6月28日

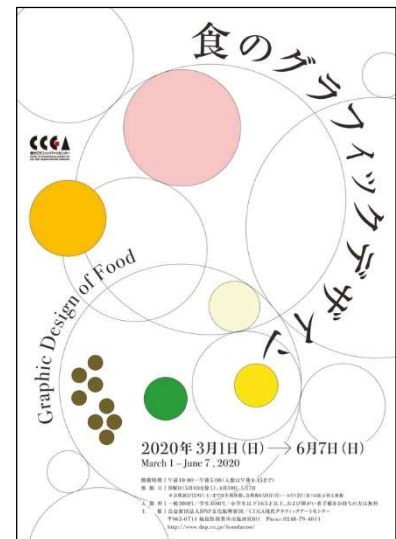
(当初予定会期：2020年3月1日～6月7日)

緊急事態宣言により、4月18日～6月4日臨時休館、  
その後会期延長

入場者： 541名 一日平均8.7名

CCGA収蔵のDNPグラフィックデザイン・アーカイブから、食に関するポスターや雑誌等のグラフィックデザイン作品を展示しました。

グラフィックデザインには、時代を反映した多くの食の表象を見ることができます。戦後間もないころのお菓子のポスターから、食をモチーフに社会への問題提起をおこなうポスターまで、デザイナーたちが食の力を伝えるべく、思い思いに腕をふるったデザインを展示しました。



## ■第81回 共鳴する<sup>しるし</sup>刻—木口木版画の現在地展

会 期： 2020年7月4日～9月6日

(当初予定会期：2020年6月13日～9月6日)

入場者： 953名 一日平均17.0名

開館25周年記念展として「共鳴する<sup>しるし</sup>刻—木口木版画の現在地」を開催しました。

木口木版画は精密な表現が可能なることから、書籍や新聞の挿絵図版として欧米で発展しましたが、19世紀末以降は写真製版の台頭で衰退していました。この「忘れられたメディア」、木口木版画を日本で美術表現として甦らせたのが、1960年代に独学でこの技法を身につけた日和崎尊夫(1941-1992)でした。その後、柄澤齊(1950-)ら、日和崎氏に影響を受けた作家たちがグループ「鑿の会」を結成、木口木版画の普及に尽力し、近年では新しい世代の作家たちが増えています。

本展では13人の現代作家の作品を通して、木口木版のいまを展覧するとともに、大日本印刷の前身、秀英舎が明治時代に使用していたアルビオン・プレス型平圧印刷機なども展示し、木口木版画の魅力を展覧しました。



## ■第82回 ことばと版画：タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.33

会 期：2020年9月12日～12月20日

入場者：729名 一日平均8.6名

版画はもともと文字や言葉とともにある存在として誕生し、長きにわたって文字と深い関わりをもってきました。20世紀以降は、1910年代のダダイズムや、第二次大戦後のポップアートやコンセプチュアル・アートなど、文字そのものをイメージ要素としてとらえたり、イメージと言語の関係を問い直したりする美術表現が生まれました。

本展では、CCGA所蔵のタイラーグラフィックス・アーカイブコレクションから、ヘレン・フランケンサーラー、ロバート・マザウェル、ロイ・リキテンスタインらによる、版画集、詩画集、あるいは文字が画面に描き込まれた作品を紹介し、言葉と版画の関係について考察しました。



## ■第83回 つながりのデザイン：DNPグラフィックデザイン・アーカイブコレクションより

会 期：2021年3月2日～6月6日

開催中

東日本大震災では「絆」が大きな注目を集めました。互いに助け合う被災者やボランティアの姿を指す言葉として、あるいは、故郷を失った被災者の人と土地との関係を示すものとして、この言葉に救われた人々は少なくありませんでした。一方で、被害を隠蔽する安易なキャンペーンとして用いられることもありました。本展は、東日本大震災から10年を機に、「絆」をキーワードに、DNPグラフィックデザイン・アーカイブ所蔵品から選定したポスター等の作品で構成するテーマ展として企画しました。

グラフィックデザインの機能のひとつは、抽象的なメッセージを視覚化し、コミュニケーションすることです。新型コロナウイルス感染症によって、人と人の距離や関係性に変化が生じている世界にあって、コミュニケーション・ツールとしてのグラフィックデザインがどのような表現をしてきたかを考察しました。



### 3 教育・普及関連事業

#### (1) ギャラリートーク（セミナー）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、ギャラリートーク等の会場に参加者を集める対面式のイベントに代わるものとして、YouTube にDNP文化振興財団公式チャンネルを開設し、作家やゲストキュレーターによるトークイベントの映像を配信しました。

YouTube 公式チャンネルでは、コロナ収束後も、トークイベントや展覧会解説動画等を積極的に配信する予定です。

#### ギンザ・グラフィック・ギャラリー（g g g）

- いきることば つむぐいのち永井一正の絵と言葉の世界展オンライントーク  
出演：永井一正、永井一史、河尻亨一
- SURVIVE 石岡瑛子 グラフィックデザインはサバイブできるか展「瑛子さんを語る！」トーク・セッション・シリーズ  
Vol.1 河尻亨一、北沢永志（g g g）  
Vol.2 榎本了壺、河尻亨一  
Vol.3 篠原ともえ、永井裕明、河尻亨一  
Vol.4 小杉幸一、伊賀大介、河尻亨一



#### 京都 d d d ギャラリー（d d d）

- 「食のグラフィックデザイン」展  
学芸員解説 出演：森崎陵子（CCGA）
- GRAPHIC WEST 9: スルギ&ミン展  
展覧会解説 出演：スルギ&ミン、後藤哲也、西山広志  
オンラインギャラリーツアー 原田祐馬、西まどか、後藤哲也

#### (2) ggg Books

令和2年度は以下の2点を発行しました。

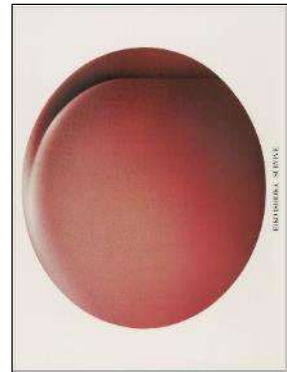
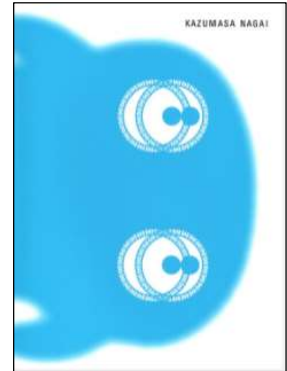
- 『ggg Books -131 植原亮輔/KIGI』  
1,282円（税込）、1500部
- 『ggg Books -132 渡邊良重/KIGI』  
1,282円（税込）、1500部



### (3) 図録等の発行と頒布

令和2年度は以下の2点を発行しました。

- 『共鳴する刻<sup>しるし</sup>—木口木版画の現在地』  
CCGAで開催した同名の展覧会の図録。  
執筆：柄澤齊、神山俊一（CCGA）  
2,000円（税込）
- 『KAZUMASA NAGAI』  
ggg「いきることば つむぐいのち 永井一正の絵と言葉の世界」展に併せて発行された、高精細プリモアート印刷による作品集  
5,500円（税込）
- 『EIKO ISHIOKA SURVIVE』  
ggg「SURVIVE 石岡瑛子」展に併せて発行された、高精細プリモアート印刷による作品集  
5,500円（税込）



### (4) アニュアルレポート

令和2年度は、前年の令和元年度（2019年）の活動をまとめたアニュアルレポート『Graphic Art & Design Annual 2019』を発行しました。

表紙デザイン：矢萩喜従郎

序文：カロリン・フラーゼンブルグ（アムステルダム市立美術館 元グラフィックデザイン・キュレーター）

A4変型判、92ページ、価格：1,000円（税込）



### (5) 版画工房（CCGA／ワークショップ）

令和2年度は、7月と11月に展覧会と連動してワークショップを開講予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。また、例年行ってきた土曜日の工房一般開放も、中止しました。

## 4 国際交流関連事業

### (1) A G I (国際グラフィック連盟) 日本会員事務局サポート

令和2年度は9月にシドニーで年次総会が開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により中止されました。

### (2) 国際交流基金ロンドン日本文化センター主催オンライン・シンポジウム

2020 東京オリンピック開催延期を受け、国際交流基金ロンドン日本文化センター主催で、日本のグラフィックデザインとスポーツの関わりをテーマにしたオンライン・シンポジウムが開催され、財団 g g g 企画室の北沢永志が講演しました。

日時：9月2日 20:00~21:00 Zoom ウェビナー

欧州、アメリカ、アジア圏から計 209 名の聴講者がありました。



## 5 研究助成関連事業

### (1) 2020年 グラフィック文化に関する学術研究助成

令和2年度は下記の要領で実施し、新規採択12件、継続助成11件、計10,000,000円の助成金を交付しました。

募集テーマ： A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間： 令和2年4月1日～6月17日

助成対象： 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

応募数： 52件（A部門国内37件・海外2件／B部門国内11件・海外2件）

選考： 7月～9月 一次審査（申請書類による書類審査）  
9月26日 二次審査（DNP銀座ビルにて）

採択研究： 新規採択12件（助成総額525万円）

継続助成11件（助成総額475万円）

詳細は次頁参照

審査委員： 柏木 博（委員長）武蔵野美術大学名誉教授

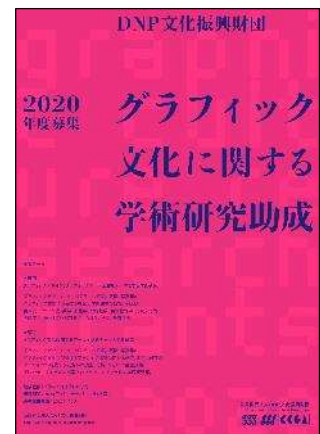
前田富士男 慶應義塾大学名誉教授

井口壽乃 埼玉大学大学院教授

建畠 哲 多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長

永原康史 多摩美術大学教授

並木誠士 京都工芸繊維大学教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長



#### ●新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置

現在助成期間中の採択研究者について、コロナ禍による研究遂行の大幅な遅れを考慮し、令和2年6月に臨時開催した書面による審査委員会において、下記の通り助成期間延長の特例措置を決定しました。

・令和元年（2018）度 採択者（令和3年3月31日満了予定）10名  
助成期間を令和3年12月31日まで延長。

・令和2年（2019）度 採択者（令和4年3月31日満了予定）11名  
助成期間を令和4年12月31日まで延長。

これに伴い、例年11月に行っていた成果報告会、ならびに研究紀要の発行は、令和3年度は行わず、次年度（令和4年）に延期することにしました。



●令和2年度採択研究（12件）

| No. | 部門 | 研究テーマ                                                   | 研究者                            | 1年目助成額                   |
|-----|----|---------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| 1   | A  | 16世紀にキリスト教宣教師がもたらした銅版画の役割                               | 蜷川 順子<br>関西大学 東西学術研究所 客員研究員    | 400,000 円<br>(500,000 円) |
| 2   | A  | 戦後フランスの複製技術による芸術の共有化に関する研究—フォートリエの「複数原画」を手掛かりに          | 木水 千里<br>早稲田大学 助教              | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 3   | A  | チェッコリ絵における逆遠近法の解釈と、その造形的研究に基づくデザイン展開                    | 林 東煥<br>九州大学大学院芸術工学府 大学院博士後期課程 | 400,000 円<br>(500,000 円) |
| 4   | A  | マイノリティ文化の越境とそのグラフィックデザイン資源化過程—日本における中国ナシ族のトンパ象形文字       | 高 茜<br>中国雲南芸術学院 教授             | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 5   | A  | 近代日本における〈学校用民間教育掛図〉の図像学的研究                              | 牧野 由理<br>埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授    | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 6   | A  | 沖縄写真史における基礎的研究                                          | 仲嶺 絵里奈<br>沖縄県立芸術大学 非常勤講師       | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 7   | A  | 間戦期グラフィック文化としてのグラフィック映画：横浜シネマ、小西六、伴野商店の小型映画戦略の国際的な位置づけ  | 小川 翔太<br>名古屋大学 准教授             | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 8   | A  | 戦後日本のデザインにおける勝見勝の国際的役割                                  | 碓井 麻央<br>富山県美術館 学芸員            | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 9   | A  | 百貨店における生活の表象とグラフィック：日本橋高島屋の海外商品展(1954-65)を中心に           | 菊地 尊也<br>東北大学 博士後期課程           | 250,000 円<br>(500,000 円) |
| 10  | A  | 牧野文庫コレクションにみる日本のボタニカルアート研究 -江戸時代の植物画と牧野富太郎植物解剖図の造形特徴比較- | 大友 邦子<br>筑波大学 准教授              | 400,000 円<br>(500,000 円) |
| 11  | B  | 金属活字における平仮名・片仮名の字形一覧の作成と研究                              | 石崎 康子<br>横浜市歴史博物館 主任学芸員        | 400,000 円<br>(500,000 円) |
| 12  | B  | 《原爆の図》をめぐるグラフィック文化／受容史に関する調査研究                          | 岡村 幸宣<br>公益財団法人原爆の図丸木美術館 学芸員   | 400,000 円<br>(500,000 円) |

合計 5,250,000 円

注) 括弧内は申請額

●令和元年度採択研究継続助成（11件）

| No. | 部門 | 研究テーマ                                                   | 研究者                              | 2020年<br>決定額             |
|-----|----|---------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 1   | A  | 患者・市民向けがん情報提供における効果的なメディカルイラストレーションの作成・活用に向けた大規模アンケート調査 | 原木 万紀子<br>埼玉県立大学 准教授             | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 2   | A  | 1980年代におけるイラストレーターの社会的立ち位置とイラストレーション言説の恣意性をめぐる研究        | 塚田 優<br>多摩美術大学 助手                | 400,000 円<br>(500,000 円) |
| 3   | A  | 都市空間に刻まれるグラフィックス文化：シーン街区の言語景觀に関する研究                     | 池田 真利子<br>筑波大学 助教                | 380,000 円<br>(500,000 円) |
| 4   | A  | 日本近代石版画研究発展のための亀井至一・竹二郎研究                               | 中山 恵理<br>郡山市立美術館 学芸員             | 200,000 円<br>(200,000 円) |
| 5   | A  | ペーパーギャラリー（誌上画廊）：パブリケーション・アートを通じた日米交流について                | 廣 李果<br>オクシデンタル・カレッジ 助教授         | 380,000 円<br>(485,000 円) |
| 6   | A  | 杉浦非水の戦争疎開資料に関する調査研究                                     | 折井 貴恵<br>川越市立美術館 学芸員             | 390,000 円<br>(500,000 円) |
| 7   | A  | 日本の写真黎明期におけるカロタイプとアンプロタイプの実践にみる写真の複製性にたいする認識            | 安藤 千穂子<br>京都工芸繊維大学 博士後期課程        | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 8   | A  | 20世紀前半の日本・ドイツにおける文字改革運動の経済史的研究ーカナモジカイとバウハウスを手がかりにー      | 川嶋 稔哉<br>ペンシルヴェニア大学 博士課程<br>大学院生 | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 9   | A  | 第二次世界大戦後のイタリアのグラフィック・デザイナーと社会：アルベ・スタイナーに関する基礎的研究        | 太田 岳人<br>千葉大学 文学部 非常勤講師          | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 10  | B  | 民間所在アーカイブズにおける写真の公開・活用体制の構築ー女性・子どもを記録した写真家を対象にー         | 阿久津 美紀<br>目白大学 人間学部 児童教育学科<br>助教 | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 11  | B  | 栗津潔アーカイブにおけるポスター類画像データ公開と著作権対応について                      | 石黒 礼子<br>金沢 21 世紀美術館 アーキビスト      | 500,000 円<br>(500,000 円) |

合計 4,750,000 円

注) 括弧内は申請額

●研究助成成果報告会

研究成果報告会兼交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、オンラインで開催しました。

日時：11月28日14時～16時、Teams 会議にて  
令和2年3月末で助成期間を満了した採択研究者12名のうち5名による成果報告

参加者：58名



●研究紀要の刊行

『DNP 文化振興財団 学術研究助成紀要 第3号』

発行：令和2年11月28日、B5判、本文192ページ、非売品

国会図書館、東京文化財研究所をはじめ、全国の大学図書館、美術館等、約400機関に献本



(2) 令和2年度協賛助成実績 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

CCGA所在地、福島県須賀川市周辺で行われるグラフィック文化関連の事業への協賛は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、例年開催される「すかがわ国際短編映画祭」と「田善頭彰版画展」が中止となり、以下の1件に協賛しました。

|   | 対象                            | 主催             | 年月      | 金額          | 備考                                 |
|---|-------------------------------|----------------|---------|-------------|------------------------------------|
| 1 | 須賀川地区<br>地元高等学校美術部<br>研修会への助成 | 須賀川地区高等学校美術部連盟 | 2020/12 | 60,000<br>円 | 例年、須賀川地区高等学校美術部連盟によりCCGAで開催される研修会。 |

(3) 会員参加

以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 全国美術館会議 / 会員館 (CCGA現代グラフィックアートセンター)
7. 東京アート&ライブ構想実行委員会 / 会員

## 6 会議の開催

### ●第26回理事会

(令和2年5月27日)

- 提案(1) 令和元年度(4月1日～3月31日)事業報告および収支決算について
- 提案(2) 評議員会の招集について

### ●第11回 評議員会

(令和2年6月19日)

- 報告(1) 令和元年度(4月1日～3月31日)事業報告書について
- 提案(1) 令和元年度(4月1日～3月31日)計算書類等について(決議事項)
- 提案(2) 任期満了に伴う役員の各選任について(決議事項)

### ●第27回 理事会

(令和2年6月26日)

- 提案(1) 理事長および専務理事の選任について(決議事項)
- 提案(2) 令和元年度利益相反取引の承認について(決議事項)
- 提案(3) 新事務局長選任について(決議事項)
- 提案(4) 評議員選定委員会の事務局委員の選任について(決議事項)

### ●第28回理事会

(令和3年3月16日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室、およびオンライン会議システム(T e a m s)  
東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

- 第1号議案 令和3年度寄付金の受入について(決議事項)
- 第2号議案 令和3年度事業計画、予算計画について(決議事項)
- 第3号議案 令和3年度利益相反取引の承認について(決議事項)
- 第4号議案 令和3年度資金調達及び設備投資の承認について(決議事項)
- 第5号議案 研究助成プログラムの助成金交付について(決議事項)
- 第6号議案 令和3年度協賛計画について(決議事項)
- 第7号議案 特定費用準備資金について(報告事項)
- 第8号議案 理事長及び専務理事の業務執行状況について(報告事項)

以上